

インパルス II

所属:ジオン公国軍

概要

キラ・ヤマトを倒した伝説のモビルスーツ、ZGMF-X56S インパルスの基本コンポーネントを取り入れた分離型モビルスーツ。

初代インパルスとは異なり、コアスプレンダーは武装エジェクションポッドという位置付けであり、通常はチェスト・レッグの組み上がった状態で運用される。

初代同様行動中換装機能のあるバックパックシステム「シルエット II」を備える。G タイプワンオフ機としての突出した性能よりも、これによる大きな拡張性が本機の強みとなっている。なお、初代インパルスのシルエットとはまったく互換性はない。

仕様

形式号:ZGMF-X156SF **IMPLUSII**

全高:18.3m 本体重量:48t 全備重量(軽装):63t

動力:ミズノ式常温核融合励起型熱核融合炉 热核推進・タービン発電切替式マルチパワーモジュール
装甲:VPS 装甲

バックパック:シルエット II システム

主な搭乗者:シン・アスカ レイ・ザ・バ렐

固有武装(コアスプレンダーII)

20mmAPI ブローバック機銃(×1)

24mm 多条集束レーザーバルカン(×2)

37mm ガトリングライフル(×1)

この内 37mm ガトリングライフルは、MS 時にも右胸部から前方を向き、射撃可能。

固有武装(モビルスーツ時)

近接防御システム(CIWS)/20mmAPIブローバック機銃+24mm多条集束レーザーバルカン

TPRF-RHB01A 『グラディウス』 レーザーヒートソード

Hi-ComBM02 『ライトニング』 高圧縮ビームサブマシンガン

ショルダー固定アンチビームバックラー

→以上は、「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

初代インパルスでは頭部 CIWS は軽量化・小型化のためにオミットしていたが、胸部近接火器のみでは射角が限定され不利ということから、本機ではパッケージング上の不利を承知で頭部 CIWS の搭載に踏み切った。

TPRF-RHA01A レーザーヒートトマホーク

ショルダーの小型バックラーに収められた、軽装状態でも装備されている小型の投擲武器。近接戦闘にも使用可能だが、サイズ的にあまり有用ではない。

ライトユニット

バックパックを装備可能なよう、背部を外側にオフセットしているライトユニット。

シルエットIIシステム

ファルコンシルエット

インパルスII用の近接戦闘用シルエット。取り回し優先のシンプルなビームサーベルを中心とした構成になっている。

追加固有武装:TPRF-BS01『ファルシオン』ビームサーベル

シンプルな形状の高出力ビームサーベル。

KN-RH レーザーヒートナックル

手甲に装備される、モビルスーツによる打撃用破甲武具。

240mm 重金属イオンビーム・フルオートリボルバーカノン(左肩部)

→「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

Si56/FL ビームシールドジェネレーター内蔵シールド

ビームシールドジェネレーターを内蔵した、VPS装甲シールド。

イントルーダーシルエット

インパルスII用の近接戦闘支援用シルエット。対艦攻撃にも使用できるビームランスと、短射程射撃兵器を主とする構成で、多種多様の装備を持つようになっている。

追加固有武装:TPRF-BL『トールハンマー』レーザーヒートエッジ付ビームランス

補助的な実体刃をつけ、“刃の部分が長いハルバート”

TPRF-BR01『アセンダー』ビームライフル

オーソドックスな形状のビームライフル。銃身が短めだが、照準精度は高い。

Si56/TP 105mm 短銃身ビームガン内蔵アンチビームシールド

牽制用火器として短銃身ビームガンを仕込んだ、TP装甲シールド。

RQM100『セイバーエッジ』レーザーヒートブーメラン

腰部に装備される、複合セラミック素材刃のブーメラン。

AS-AM132 132mm 対装甲近距離アクティブホーミングミサイル

→「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

フォートレスシルエット

インパルスII用の対艦・対要塞用シルエット。厚い装甲を切り裂くことを目的としており、対MSの場合は、射撃武器に頼ることになる。

追加固有武装:TPRF-RHL『スワンチカ』レーザーヒート・ロングアックス

複合セラミック素材のヒートロングアックスだが、さらに刃を対ビームコート。

TPRF-M01 800mm ジャイアント・バズ

バズーカを名乗っている物の、実際には高初速で大質量実体弾を射撃する火器。

M2500『オルトロスⅡ』高圧長射程ビーム砲(左肩部)

『アグニⅡ』と同系列のビーム砲。粒子タンクの採用により、射撃数を大幅増加。

Hi-Com75 75mm ビームバルカン銃塔(背面)

連射可能な高圧縮ビームガンの旋回銃塔で、背後の守りに備える。

ナイトホークシルエット

ドラグーンシステムの改良型として、デュートリオン電送システムを使用し、ガンバレルシステム並みの分離時間超長期化を行ったガンバレルドラグーンを製作。その実戦検証用として、インパルスIIを母機とし、運用可能にしたシルエット。

追加固有武装: **『ガンバレルドラグーンシステム』 TPRF-DGSX1 遠隔機動突撃銃 × 4**

240mm ビームガンを装備。内 2 基は非分離時も、肩越しに前方へ射撃可。

オプティマイズド・ガンバレル同様、大気圏内飛行用の X 翼を持つ。

TPRF-BR01 『アセンダー』 ビームライフル

Si56/TP 105mm 短銃身ビームガン内蔵アンチビームシールド

AS-AM132 132mm 対装甲近距離アクティブホーミングミサイル

ストライカーパックキャリア

シルエット II システムにストライカーパックを搭載する為の変換カプラー。これを使用することにより、ストライカーパックを装備することが出来るが、行動中換装は行えない(回収しないことを全体にページすれば、シルエット II システムのシルエットへの換装は可能)。作中には登場しているシーンはない。

エンデューリングジャスティス

所属:ジオン公国軍

概要

形式号にTPRFを冠する『ジオニックシリーズ』のモビルスーツ第1号。

モビルスーツ戦の基本スタイルはあくまで格闘戦であるという基本に立ち返り、ZGMF-X09A ジャスティスの設計理念を取り入れて設計された高機動型MS。

ビーム兵器の台頭により絶対的優位性を失ったPS装甲を全身に行き渡らせる事を止め、ビーム、実体弾の両者にある程度の抗堪性を持つ、強化合金による複合装甲へと回帰した。コクピットのみ、二重装甲の内側をVPS化するPSCU(※)装甲を用いている。これにより送電系統とPS装甲の制御系をスリム化して高機動化に貢献させた。

PS装甲ではないので色は自在だが、ジャスティスの系統であることを示すため、ジャスティス、インフィニットジャスティスと同系統のピンクがかった赤を採用している。

仕様

形式号:TPRF-XMS109F ENDURING JUSTICE

全高:19m 本体重量:52t 全備重量:73t(うちファトゥム 10t)

動力:ミズノ式常温核融合励起型熱核融合炉 ジェネレーターコンポーネント

装甲:強化合金装甲+胴体 PSCU 装甲

主な搭乗者:シン・アスカ

固有武装

近接防御システム(CIWS)/20mmAPIプローバック機銃+24mm多条集束レーザーバルカン

Hi-ComBL01『パンサー』高圧縮ビームアサルトライフル

ショルダー固定アンチビームバックラー

→以上は、「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

TPRF-BS03『ミストルティン』ビームサーベル

インパルスIIの『ファルシオン』の出力特性、アイドルパターンを見直し、若干コンパクトにして取り回しを改善したもの。

RQM110『クーゲルブリッツ』レーザーヒートブーメラン

折りたたみ機構のついた、複合セラミック素材の刃を持つブーメラン。ショルダー固定バックラーに収納されている。

Hi-Com75 75mm 高圧縮ビームガン

胸部に搭載している短銃身のビームガン。連射能力があるが精度はあまり高くない。

RG-RH『キマイラ』レーザーヒートブレイド

インフィニットジャスティスの『グリフォン』の代わりに搭載された破甲用複合セラミック刃。両足の甲部分に装備され、接合部はユニバーサルジョイントになっており、縦横の方向が可変になっている。

ZMX3002 ビームシールドジェネレーター内蔵シールド

ビームシールドジェネレーターを内蔵したVPS装甲シールド

ファトゥム-Z1

エンデューリングジャスティスが装備するリフター機能付機動性向上・飛行機能ユニット。“**ヴォワチュール・リュミエール**”に相当する高推力ユニットを持つ。そのためシンやイザークなど格闘戦に特化した操縦技術を持つエースパイロットでなければ扱いは難しい。

固有追加武装:TPRF-BSR01 『エクストレームラケルタ』 ビームサーベル(×2)

連結機構を持つビームサーベル。

エクストレームはフランス語で、英語の「ULTRA」に相当する単語。

240mm 重金属イオンビーム・リボルバーカノン(上方)

Hi-Com75 75mm 高圧縮ビームガン(×1 上方または肩から前方)

主にファトゥム単独飛行時に使用する武装。

TPRF-RHW レーザーヒートティング

リフター主翼前縁に沿って設けられた、複合セラミック素材製の刃。

TPRF-BLE ビームラム

リフター分離時、機首にデルタ型に形成されるビーム刀。

脚注

※:作中では構造から『TP 装甲』の呼称を使用したが、従来の TP 装甲とは異なり、常時通電状態である為、本来は PSCU(Phase Shift armoring Covered with the Usual armoring)装甲の呼称が正しい。

逸話

当初は TPRF-MS の後に、試作機・G タイプは X○○……と番号が続くはずだったが、TPRF-MSX になってしまうため、X と MS を入れ替えて TPRF-XMS○○……に変えたという経緯がある（やめた理由が分かった奴は高確率でオッサンである）。

『キマイラ』は当初インフィニットジャスティスの『グリフォン』と同じ位置に装備していたが、かつて悪い・使い勝手悪いと思っていた。その後、綱島志郎氏の漫画「オリハルコンレイカル」を読み、その中の登場キャラ「カリクム」の足ブレードを見てインスピアされ、現在の設定に変更された（現在の設定は、正直まんまとある）。

ミーア

所属:ジオン公国軍

概要

エンデューリングジャスティスと同時開発された“ジオン版フリーダム”。女性の長髪を模したような、補助翼機構が特徴的。

ストライクフリーダムの欠点であったドラグーン収納時の機動性低下を解消するため、格納時のドラグーンを補助スラスターとして機能させている。補助翼機構はドラグーンの格納部。大気圏内では実際に気流制御も行う。

エンデューリングジャスティス同様、全身に渡るVPS 装甲は廃し、ビーム兵器と実体弾の両者にある程度抗堪性を持つ、強化金属による複合装甲に回帰している。コクピットのみ、二重装甲の内側をVPS 化するPSCU 装甲を用いている。ただし、補助翼機構は自身の強度確保のため、VPS 化されており、起動時はやや濃い目の鮮やかなピンクに染まる。

ストライクフリーダムでは装甲を削ってまで高機動性能を確保していたが、核融合動力の導入もあり、被弾をゼロと考える設計は止め、やや重厚とも言える装甲を施した。そのため、背面の補助翼機構とあわせて全体的に女性的なシルエットになっている。またビームシールド万能論的な考えも廃し、大型の実体シールドを装備させている。

補助翼機構を除き PS 装甲ではないので色は自在だが、フリーダムの系統であることを示すため、フリーダム、ストライクフリーダムと同系統の白と青を主体とした塗装を採用している。

仕様

形式号:TPRF-XMS999F MEER

全高:19m 本体重量:47t 全備重量:72t

動力:ミズノ式常温核融合励起型熱核融合炉 ジェネレーターコンポーネント

装甲:強化合金装甲+胴体 PSCU 装甲+補助翼機構 VPS 素材

主な搭乗者:クレハ・バレル

固有武装

近接防御システム(CIWS)/20mmAPIプローバック機銃+24mm多条集束レーザーバルカン

Hi-ComBM02/LB 『ライトニングLB』 高圧縮ビームサブマシンガン

ショルダー固定アンチビームバックラー

240mm 重金属イオンビーム・リボルバーカノン(×2 肩)

→以上は、「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

TPRF-BS03 『ミストルティン』 ビームサーベル

インパルスIIの『ファルシオン』の出力特性、アイドルパターンを見直し、若干コンパクトにして取り回しを改善したもの。

RQM110 『クーゲルブリッツ』 レーザーヒートブーメラン

折りたたみ機構のついた、複合セラミック素材の刃を持つブーメラン。ショルダー固定バックラーに収納されている。

『デュランダル』超高出力レーザーカッター(×4両腕、脇腹)

戦略レーザー兵器『レクイエム』をMSサイズに応用した兵器。硬化処理の行き届いているものほど効果が高く、VPS装甲のモビルスーツでも輪切りにしてしまう。

ZMX3003 ビームシールドジェネレーター内蔵シールド

ビームシールドジェネレーターを内蔵した、大型のVPS装甲実体シールド。

『スター・ドラグーンシステム』

EQFU-Z15X 遠隔機動突撃銃(×6)

240mm 小型ビームガンを装備

EQFU-Z11X 遠隔機動突撃銃(×2)

200mm 超多条集束レーザーバルカンを装備。やや小型。

格納時も補助スラスターとして機能することにより、機動力の低下を抑える。また、小型の可変翼を供え、大気圏内での運用も可能にしている。ドラグーン子機への電力供給はデュートリオン電送システムを用い、核融合動力とあわせて、従来の有線ガンバレルをも凌駕する分離稼働時間を実現している。

その他

ストライクフリーダムに採用されていた“ヴォワチュール・リュミエール”的相当品を搭載し、一時的に高機動力を発揮することができる。しかし異常に高い推力に加え、ミーアのスラスター推力配置がかなりトリッキーであることから、これをフルに生かすことができるのはクレハ・バレルのみであるといって良い(キラやイザークでも100%の発揮は不可能。あえて可能性があるとすればレイ・ザ・バレル)。

インビシビリティレジェンド

所属:ジオン公国軍

概要

インパルス II・ナイトホークシリエットを基に、完成形のモビルスーツとして開発された、ガンバレルドラグーン搭載型 MS。

『レジェンド』の名は冠しているものの、実際には格闘戦を意識した機体にガンバレルドラグーンを装備した形態であり、デスティニーの後継といった方が正しい。

エンデューリングジャステイスやミーアよりやや遅れて完成した。同様に、全身に渡る VPS 装甲は廃し、ビーム兵器と実体弾の両者にある程度抗堪性を持つ、強化金属による複合装甲に回帰している。コクピットのみ、二重装甲の内側を VPS 化する PSCU 装甲を用いている。

塗装はイザークが初めて搭乗した G タイプモビルスーツであるデュエルを意識した塗り分けになっているが、やや暗い色になっている。

仕様

形式号:TPRF-XMS1F INVINCIBILITY LEGEND

全高:19m 本体重量:48t 全備重量:71t

動力:ミズノ式常温核融合励起型熱核融合炉 ジェネレーターコンポーネント

装甲:強化合金属+胴体 PSCU 装甲

主な搭乗者:イザーク・ジュール

固有武装

近接防御システム(CIWS)/20mmAPIプローバック機銃+24mm多条集束レーザーバルカン

Hi-ComBL01 『パンサー』 高圧縮ビームアサルトライフル

ショルダー固定アンチビームバッклー

→以上は、「ジオン量産機」の「共通装備品」の項目を参照のこと。

TPRF-BHL01 ビーム長刀

ビーム刀身を持つモビルスーツ用長刀。ビーム刀身は 1 本のみになっている。

ZMX3005 ビームシールドジェネレーター内蔵シールド

ビームシールドジェネレーターを内蔵した VPS 装甲シールド

『ガンバレルドラグーンシステム』 TPRF-DGS1 遠隔機動突撃銃 × 4

240mm ビームガンを装備。内 2 基は非分離時も、肩越しに前方へ射撃可。大気圏内飛行用の X 翼を持つ。ナイトホークシリエットのものよりさらに洗練され、実用レベルでの実質的な性能向上が図られている。

逸話

レジェンドの後継機という案はあるにはあったが、ほとんど出す意図はなかった。しかし、「イザークだけ最後まで量産機か YO！」と言う電波が飛来したため、急遽登場することになった。名前の最終決定は仕事中(しかも接客業)に 3 秒で考えた。

ケルビックフリーダム

所属:ZAFT 大統領武装親衛隊

概要

ストライクフリーダムの後継機として、大元の設計は C.E.77 年頃から企画されていた機体。しかし、核エンジン(核分裂炉)でもその消費エネルギーを満たすことができなかつたため、アウトラインだけ完成した時点で事実上開発が中断された状態になっていた。

基本は重量級の大火力機。しかし、“エンゲージ” 脳波感知インターフェイスを搭載し、武装選択やドラグーンの操作など、物理的にコンソールを操作するネックを解消、さらに高度な操縦補助も行う。これにキラ・ヤマトの能力を合わせることで、格闘戦においても高い能力を発揮し得る。

コンポーネント的には、ストライクフリーダムよりも更なる大火力化と、それに伴う機動性低下を完全以上に補う高推力化が主体となっている。また、装甲は **APS 装甲**(Advanced Phase Shift)が採用されている。フェイズシフト層を複合化することで、対弾性の向上を果たしているが、ビーム兵器への抗堪性はさほど改善されていない。

しかし、核融合動力を得てから短期間で建造したため、一部欠点が露呈した形での就役となってしまった。

仕様

形式号:**ZGMF-X30F CHERUBIC FREEDOM**

全高:19.3m 本体重量:67t 全備重量:82t

動力:シーゲル II 式常温核融合励起型熱核融合炉 ジェネレーターコンポーネント

装甲:APS 装甲

主な搭乗者:キラ・ヤマト

固有武装

F&T-GAU/L48 近接防御システム(CIWS)/48mm 多条集束レーザーバルカン

頭部に搭載された、近接防御用のレーザーバルカン CIWS システム。

MIF-801 『エクストレームラケルタ』 ビームサーベル(×2)

『シュペールラケルタ』をさらに高出力化した、連結機構付ビームサーベル。“エクストレーム”はフランス語で、英語の“Ultra”に匹敵する単語。このためジオンの TPRF-BSR01 と同一となったのは、“必然に近い偶然”と言える。

MA-M2021 『アステロイド』 ビームライフル(×2)

長銃身のビームライフルで、その出力はアグニやオルトロスよりも“やや劣る”程度のもの。2 基搭載するが、連結機構はない。

MGX-10000 『アポリュオン』 複相複元高荷電粒子砲(胸部)

見た目は2門の複相ビーム砲だが、ループ磁力線をその前方に発生させ、空間をコンデンサーに見立てることにより、艦砲をも凌駕する大出力の粒子ビーム砲として機能する。2門の砲として掃射する事も可能。

しかし、空間コンデンサー動作のため、全力射撃の際にはその前に胸部前方がフラッシュすると言う欠点を抱えている。

MIF-F80 『ヒュドラ』 複相高荷電ビーム砲(×6 肩部、脇腹)

複砲装備。『カリドゥス』の小型化版だが、能力はさほど落ちていない。ストライクフリーダム同様、ビームライフル携行時は脇腹の4基のうち2基が射撃不可能と言う欠点がある。

M181TE 『ドラウプニルⅡ』 長射程4連装ビームガン(×2)

両腕に装備された小型ビームガン。グフ・イグナイテッドのものより長射程化されており、一般的なビームライフルと同程度になっている。

G18SX ゲシュマイディッヒパンツァー

ビーム兵器に弱いAPS装甲の弱点を補うために搭載された。フォビドゥンが搭載していた物よりさらに高出力化され、長射程のビーム兵器はほぼ完全に回避可能となっている。

MX001 『フェルディナンド』 ビームシールドジェネレーター

両腕部に装備されている高出力ビームシールドジェネレーター。

『クリュティエ・ドラグーンシステム』 :EQFU-6X 機動突撃銃(×8)

短銃身ビームガン及びF&T-R10 レーザーフィールドエッジを搭載。スーパードラグーンよりも応答性、自動操縦の能力を向上、加えて“エンゲージ”システムに対応する反応速度の高速化を施されている。一方、格納時には機動性が落ちると言う、ストライクフリーダムからの欠点は改善されていない。

その他

ストライクフリーダムに採用されていた“ヴォワチュール・リュミエール”的相当品を搭載し、一時的に高機動力を発揮することができる。

“エンゲージ”の実用レベルでの使用にあたっては、“**スキヤナ**”と呼ばれる延髄の神経伝達パターン解析システムによるデータ取得が必須となる。しかし、この“スキヤナ”は行使される人間の神経に過大な負荷を与え、多くの場合致命的なダメージを与える。その為、通常はサンプルクローンを使用することになるのだが、サンプルクローンと本来の搭乗者は、限りなく同一の存在に近くなければならない。したがって、事実上、母体の不安定要素を取り除いたスーパー コーディネイター専用品となる。“スキヤナ”を搭載したケルビックフリーダムの形式号は**ZGMF-X30F/Ps**。

また、“スキヤナ”非実装でも、“エンゲージ”的使用は使用者の神経に負担を強いる。

アンビテン

所属:ZAFT 大統領武装親衛隊

概要

インフィニットジャスティスとセイバーの両者の後継機として開発されていた、高速・高機動型のMA 可変機構を持つモビルスーツ。

ジャスティス系列らしくスタンダードな装備内容となっている物の、MA 形態時に使用することを目的として、一部大火力の装備も施されている。しかし、高推力を持たせることで、機動力はファトウム装着時のインフィニットジャスティスを凌駕する。この高推力に動力を供給しうるパワーモジュールが存在しなかつたため、C.E.77 年にアウトラインを完成しておきながら、実機の製造はされないままになっていた。後に核融合動力を得て完成する。

搭乗者はアスラン・ザラを予定していたが、戦争犯人としてオープからジオンに引き渡され、後にMIAとなってしまった。その為、ルナマリア・ホークが搭乗。

仕様

形式号:ZGMF-X31F UNBEATEN

全高:18.8m(MS 時) 本体重量:64t 全備重量:79t

動力:シーゲル II 式常温核融合励起型熱核融合炉 ジェネレーターコンポーネント

装甲:APS 装甲

主な搭乗者:ルナマリア・ホーク

固有武装

MIF-M31L 近接防御システム(CIWS)/14mm ショートリコイル機銃+24mm 多条集束レーザーバルカン

MA 形態時には機首固定機銃として機能する。この際の武装の多様化のため、実弾の機銃も取り入れている。

MIF-M331G 『カリドゥス Hi』 長銃身複相ビーム砲

主に MA 形態時の攻撃用武器として搭載されている。ストライクフリーダムに搭載されていたカリドゥスの長砲身化版で、艦艇への攻撃力をも備えている。

MIF-801C 『エクストレムラケルタ』 ビームサーベル(×2)

『シュペールラケルタ』をさらに高出力化した、連結機構付ビームサーベル。

MA-M2031 『ホイッスラー』 ビームライフル

ハンドガンサイズのビームライフル。MA 形態時にはキャリアに搭載して収容され、射撃することはできない。

RQM131 『セントー』 ビームエッジブーメラン

シンプルな形のビーム刀身を発生させるビームブーメラン。MA 形態時には機体下方に搭載され、機首ビームラムとして機能する。

MR-Q31 ビームエッジ

インフィニットジャスティスの『グリフォン』 ビームエッジの後継。装備形態も同様で、膝から爪先にかけてビーム刀を発生させる。MA 形態時には、後部ビームエッジとして機能する。

MX003 『アルフレート』 ビームシールドジェネレーター内蔵ウェポンキャリーシールド

ビームエッジブーメランを格納するキャリア機能のついた、ビームシールドジェネレーター内蔵のAPS 装甲シールド。

G18X アドバンスドスクリーミングニンバス

ドム・トルパーに搭載されていた物より、高出力化されており、ゲシュマイディッヒパンツァーほどではない物の、射撃兵器をある程度無効化することができる。

逸話

ケルビックフリーダムとともに、名称の決定にかなり悩ませてくれた機体。“ジャスティス”はつきません。あしからず。